

## 丸山を元気にしよう！朝市、夕市の開催

取材日：平成23年（2011年）3月26日

### 【団体の活動目的】

丸山を元気にする会は、地元野菜などの地産地消を通じて「まちおこし」、商店街活性化を進め、丸山地区を元気ある街とすることを目的とする。加えて会員相互の親睦を図るものである。

### 【支援金事業内容】（支援対象経費総額 268,515 円 支援金確定額 200,000 円 支援率 74.48%）

活動内容は丸山商店街内で空いている倉庫、駐車場、幼稚園の園庭などを借りて月に1回、朝方実施の朝市や夏場は涼しい夕方に実施する夕市を、季節ごとに趣向を凝らしたイベントで開催することである。

朝市、夕市は地元の畑から収穫したての野菜を有志が持ち寄り、格安で販売する。また、地域のお母さんによる手作りグッズの販売、丸山商店街の有志による出店販売等で地域住民の交流を図り、地産地消と商店街の活性化をあわせて推進するものである。支援金は、主として地域住民に毎月知らせる広報用としてPR用チラシ、新聞広告カラー等の宣伝費と、開催のぼり旗やテントの設備費等に使われている。

### 【活動の現場から】

取材の当日は、地域住民有志が①安く新鮮な野菜 ②利益度外視の面白グッズ ③店自慢の品などを自主的に持ち寄り、世代間を越えた住民交流の朝市が開催された。

開催20分前から地域の人たちが集まり始め人気の野菜コーナーには行列が出来た。

参加者はお互いに世間話をしながら買い物をし、近くの店から出されたカレーライスやお弁当を買って、用意されたベンチで食事をしていった。（この日は時間帯が昼までであった）

この会場は工務店の協力を得て貸して頂き、倉庫の中で鉄板焼やその他、温かい食材を販売していた。料理はスタッフ（9名）全員で行い、温かいコロッケは行列が出来るほどで、中でもクリームコロッケは1時間で売り切れた。

子供コーナーも有り、子供（小学生）だけで玩具店を運営していて楽しそうに商売していたのは印象的であった。

出店数は10軒で、大人から子供までイベントを楽しんでいる様子がかがわれ、地域交流に大いに貢献している。金子代表のお話では今日は通常の150名程参加するであろうとの予測であった。



出品有志リスト



イベント開催全景

### 【事業に期待される効果】

地方の街の過疎化は全国的な問題で進んでいるが、丸山地区は住民が少ないのではなく宅地造成で増加の傾向であるものの、戸建の個人住宅が多く、地域住民交流の活性化は難しい現状である。

しかし、丸山を元気にする会のイベントは毎月回を重ねるごとに参加者が増え、お互いに挨拶を交わし話は弾む楽しい場になっていた。「街の活性化は地域住民の交流から」の狙いどおり、イベント開催1年目で地域住民による朝市の存在が地域の人たちに知れ渡り、毎月始まるのを楽しみにしているところまで成果を上げて来た。

来年はイベント内容で、市場運営企画段階から一般住民にも参加してもらい、内容をもう少し充実し、もっと大きな輪で地域住民交流活性化を進める方向である。

### 【取材を終えて】

街の商店街は、大手企業に太刀打ち出来ず過疎化が進んでいる。このイベントを通して地域住民の交流が活性化され、昔ただ買い物に来るだけの商店街から、人と人とのコミュニケーションの場として変わっていく事を期待したい。

この地区はそばに、丸山緑地という自然豊かな里山がある。「まちおこし」も地元商店街だけでなく、自然豊かな立地を生かして、緑地の保全に取り込んでいる市民活動団体などと協働して、多くの地域住民を巻き込んだイベントを開催する事により、もっと活発になって行くのではないだろうか、この事業の発展性を感じた。

関わり先（連絡担当者）  
丸山を元気にする会  
会長 金子 達雄  
Tel：047-438-1704